

「令和7年度 新鮮いわて農業チャレンジ体験研修レポート (No.13)」

■ 研修時期・研修先

時期：令和7年9月17日（1日）

研修先：農事組合法人となん（盛岡市）

■ 研修生について

岩手県内在住のRさん。将来、就農を考えており、農業への考え方ややりがい、就農を目指すうえで今できることについて知りたい、とチャレンジコースにお申込みいただきました。

■ 研修先の概要

経営面積は、水稻 843ha（主食用 731ha、加工用 53ha、米粉用 18ha、飼料用 41ha）、小麦 90ha、大豆 4ha、加工用トマト 1ha を作付し、生産・販売しています。

営農や行事を協力し合いながら行う「ぐるみ型」の集落営農を展開し、組合員が管理できない農地は、同組合職員が「直営」で耕作しています。

また、新規就農者確保のため、就農希望者に研修を受けさせながら、自営就農への支援をしています。

【HP】 <https://tonan-agricoop.jp/>

■ 研修の内容

- ・ ガイダンス（組合の概要）、稲刈り（手刈り）、幼稚園児の稲刈り体験の指導及び補助、米粉麺商品のパッキング作業、組合の業務改善会議への参加を実施しました。



■ 研修の感想

- ・ 幼稚園児との稲刈り体験の補助では、初めて自分が指導する立場になり、教え方に苦労しましたが面白さも感じました。今後は、もっと農業についての知識を習得したいと思いました。
- ・ 業務改善会議への参加で、となんさんの業務が、誰に・どのように・どんなところで役立っているのか知ることができました。また、社員の方の業務に対する熱い思いとやりがいを感じられました。
- ・ 研修中、社員の方等様々な方のお話が聞けて、自分の知りたいことを知ることができました。



■ 今後の予定

- ・ すぐにではないが、雇用就農を検討しています。また、農業機械の分野にも興味があるため、様々な就農へのルートを考えていきたいです。

